

萩ジオパーク

推進協議会だより vol. 100

萩ジオパーク推進協議会

| 2023年6月30日発行 |

〒758-0041

山口県萩市大字江向602 萩・明倫学舎本館2階

☎ 0838-21-7765

☎ 0838-25-7767

✉ geo@city.hagi.lg.jp

🌐 https://hagi-geopark.jp

📘 https://www.facebook.com/HagiGeoProject



祝！100号記念



萩ジオパーク推進協議会の活動についてお伝えしている「萩ジオパーク推進協議会だより」の発行がこの号で100号となりました。当初から関わっている私、伊藤は「継続は力なり」だなあと実感したところです。記念すべき第1号は2015年8月1日発行で、萩ジオパーク構想推進協議会として2016年の申請に向けて、協議会の活動を知っていただくため、月2回A4両面でスタートしました。2017年4月から月1回A4・4ページでの発行となり、2019年1月からは4コマ漫画「がんばれ！半田くん」の連載が始まりました。改めて1号から読み返しましたが、推進協議会が関係の皆様と一緒に様々な取り組みを行ってきたことが記録されています。これからも「地球の目線で地域（萩・阿武・阿東）らしさが見える“伝わる”まち」を目指して、ともに活動していきましょう。

全号見たい方はこちら→



そして、萩ジオパークが2018年9月20日に日本ジオパークに認定されて、丸5年となります。そこで9月24日（日）に「萩ジオパークフェスティバル」と題して、これまで活動に関わっていただいた方、活動に賛同いただいている方と一緒に「大地と人、人と人がつながる」お祭りを開催します。来場者が、作る、実験する、食べる、遊ぶ等、さまざまな「体験」できるイベントです。詳しい情報は次号でお知らせします。

事務局長 伊藤靖子

この号は「萩ジオパーク推進協議会」が発行するもので、申請した自治体の利用が前提です（著作権は萩ジオパーク推進協議会が所有しています）。萩ジオパーク推進協議会とは、萩ジオパーク構想推進協議会が前身で、現在は「萩ジオパーク推進協議会」として活動しています。また、この号の発行は、萩ジオパーク推進協議会の活動の一環として行われています。また、この号の発行は、萩ジオパーク推進協議会の活動の一環として行われています。また、この号の発行は、萩ジオパーク推進協議会の活動の一環として行われています。

阿東郷土史研究会で講演しました

【5/29】

5月29日に山口市阿東地域交流センターを会場に開催された阿東郷土史研究会の講演会に白井専門員が登壇しました。阿東地域の郷土史を研究したり学んだりされている地元の方々が40名程お集まりいただきました。

「阿東の大地と人の物語」という演題で、火山や川の活動が生んだ特徴的な阿東の大地の成り立ちを実験を交えて解説したり、人々の歴史や暮らしとのつながりをお話しました。地形図を眺めたり、実験をする場面は特に盛り上がりと、参加者同士で発見や感動を共有されているようでした。



萩市新採職員研修を行いました

【6/8】



6月8日は萩市役所の新採職員研修のジオパーク推進課担当回でした。毎年の恒例ですが、ジオガイドの皆さんによる体験プログラムを実際に体験してもらいました。しかし、今年はいにくの雨。定番の城下町のツアーは急遽室内で、Googleストリートビューを使って行うという初めての試みをぶっつけ本番でやってみました。さすがは百戦錬磨のガイドさん！臨機応変な対応で、十分にジオパークの視点が皆さんに伝わったようでした。後半は笠山山頂に移動して火山実験や火口見学を体験し、普段の活動を知ってもらうと同時に、ジオパーク的な考え方を知ったり、持続可能な開発について考えたりする時間としました。

この経験も糧にして、萩の未来を担う力として頑張ってもらいたいですね。

新採教員研修を行いました

【6/9】

6月9日には、こちらも毎年恒例の新採教員（小中学校の先生）の研修会でした。笠山を舞台に、麓では漁師町のまち歩き、山頂では火口見学と火山実験を体験してもらいました。いつも学校向けに行なっているプログラムです。

町歩きでは、ガイドが親切に案内するのではなく、地形図を片手に自分たちで散策してもらいました。漁師町特有の迷路のような細い路地や、笠山の溶岩の“キワ”にあることが実感できる急こう配を、自らの五感で発見してもらいました。その後に明神池や風穴を解説付きでご案内して、溶岩のキワから冷気がしみ出す仕組みや、海だった所が砂で埋め立てられた場所であることから水の確保に苦労したという話をすると、さっき歩いた町の不思議な光景の種明かしみたいで面白かったようで、かつてないほど盛り上がりました。「教える」ではなく「気が付いてもらう」ことの大切さを実感してもらえたようでした。



椿西小学校の田植え学習で出前授業をしました

【6/15】

6月15日は椿西小学校に5年生の田植え学習の講師として白井専門員がうかがいました（これも毎年の恒例となりました！）。

泥んこになって田植えをする前に、田んぼというのはお米を作るだけじゃなくて、人にも自然にも大切な営みなんだ、という話をしました。地形図と古地図を見比べて先人の土地利用の知恵を発見してもらったり、生き物のすみかとしての田んぼの話や海の豊かさにもつながっているという話をしたり。最後には、川が大地をつくる様子を実験で確かめて、こういう大地でこれからも暮らしていくためには田んぼって大切だよ、というお話をし、地元の“つばき田んぼの会”の皆さんにバトンタッチしました。

萩でも田んぼは開発が進んでどんどん減っていますが、椿西小学校の周辺は江戸時代の地図と比べてもあまり変わっていません（すごい！）。これからもこの子どもたちがそれを引き継いでいってくれるといいですね。



患者サロン「だいたい」の皆さんをご案内しました

【6/20】



6月20日は、がん患者さんやそのご家族が集うサロン「だいたい」からのご依頼で、白井専門員がジオパークの目線で萩の町をご案内しました。最初に、菊ヶ浜で美しい砂浜や萩のシンボル指月山、そして特徴的な萩六島の景色を眺め、その成り立ちを実験などで知っていただきました。また、その成り立ちを知ると、目の前の白砂青松の景色と、萩焼がとても深い関係にあることもわかります。

後半は萩焼の始まりの窯である坂高麗左衛門窯におじゃましました。昨年14代を襲名された坂さんに、その歴史や土地との関わりについてお話をじっくり伺いました。最後には歴代の作品を眺めたり、登り窯を見学したり、萩の土地と人の世代を超えた関わり合いの歴史に触れていただきました。

令和5年度 萩市ジオパーク活動補助金再募集のお知らせ

萩市は、地域の発展を目指しつつ、大地の遺産を守り、学び、生かすための主体的で特徴のあるジオパーク活動を行う市民活動団体、町内会や自治会などの地域住民組織に対し、萩市ジオパーク活動補助金（上限25万円）を交付します。補助対象期間は交付決定日から令和6年3月19日（火）までで、募集期間は8月16日（水）までとなっています。

多くの皆さんがジオパークを通じた様々な活動を展開されることを期待しています。補助対象事業や、補助対象経費など募集に関する詳しい情報や申請書類等のダウンロードは萩市公式ホームページへアクセスしてください。



第13回日本ジオパーク全国大会 in 関東開催決定!!

大会テーマ：「今こそ行こう！ジオパーク」

実施場所：中央会場 銚子ジオパーク／千葉科学大学（千葉県銚子市潮見町3）
サテライト会場 ジオパーク秩父／秩父宮記念市民会館（埼玉県秩父市熊木町8-15）

実施日：令和5年10月27日（金）～29日（日）

スケジュール：

	中央会場（銚子ジオパーク）	サテライト会場（ジオパーク秩父）
27日（金）		特別講演会
28日（土）	開会式、基調講演、基調提言、分科会、ポスター発表、交流会	分科会、ポスター発表、交流会
29日（日）	口頭発表、ポスター発表（コアタイム）、閉会式	口頭発表、ポスター発表（コアタイム）

その他：プレジオツアー（26日、27日）、ポストジオツアー（29日、31日）も開催されます。
今年も参加者に交通費の半額負担および参加費5,000円の補助（5名程度）を予定しています。
大会詳細が分かり次第募集します。

夏休みだ！萩ジオパーク行こう アフターコロナの夏、体験を用意しています

○ 龍が通った道まつり

今年は壘ヶ淵を下流から眺めたり、少し上流を歩いて、自然の中でゆっくり時間を過ごします。一部、川の中を歩きますので、すべりにくい靴や濡れてもいい格好でご参加いただけます。

日時：7月30日（日）9時～13時30分

集合場所：弥富交流促進センター

定員：20名（先着順、小学5年生以上、小学生は保護者同伴）

参加費：1000円（昼食代含む）

募集期限：7月21日（金）

問い合わせ・申込：弥富公民館
（08387-8-2044）

主催：壘ヶ淵交流事業実行委員会



○ 菊ヶ浜トワイライトハイク

海水浴客の帰った後の菊ヶ浜で、五感を使って砂遊びや生き物観察を楽しみます。

日時：7月16日（日）、8月26日（土）19時～20時

集合場所：菊ヶ浜駐車場

定員：12名（先着順、小学生以上、当日現地受付可）

参加費：500円

予約方法：フォームまたは萩ジオパーク
推進協議会（0838-21-7765）へ電話
主催：萩ジオツーリズム協会



○ 笠山噴火実験教室

小さな火山・笠山の成り立ちが分かる実験をご紹介します。

日時：7月22日（土）、8月26日（土）13時～15時

集合場所：笠山山頂広場

参加費：①炭酸噴火実験 ②溶岩噴出実験

各300円 受付：当日現地受付

主催：笠山ジオの会



○ 須佐ホルンフェルスミニツアー

須佐ホルンフェルスはどうやってできた？

特製ボトルを片手に景色を読み解こう。

日時：7月23日（日）、8月6日（日）11時

～14時の間、いつでも

集合場所：つわぶきの館

参加費：500円（工作キット代）

受付：当日現地受付

主催：萩ジオツーリズム協会



○ 火山の磯たんけん

火山のふもとの磯に暮らす生き物を探します。

日時：7月30日（日）、8月6日（日）10時～11時

集合場所：笠山虎ヶ崎つばきの館前

参加費：1,000円

定員：10名（先着順、小学生以上）

予約方法：フォームまたは萩ジオパーク

推進協議会（0838-21-7765）へ電話

主催：笠山ジオの会

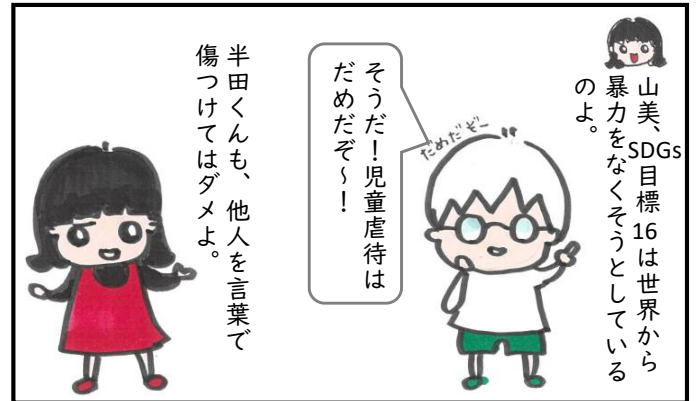
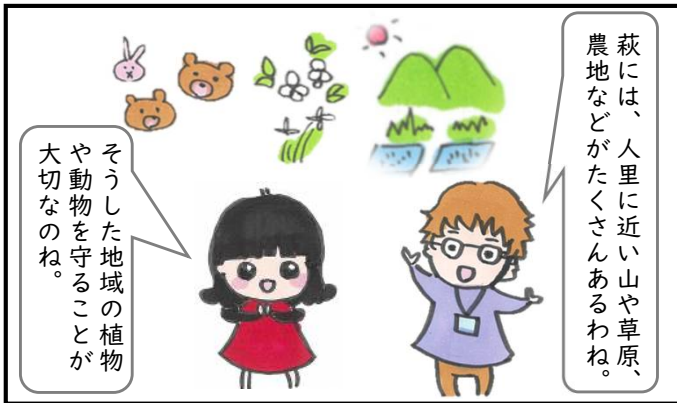


7月の予定

○ geoとも（萩ジオ友の会）定例会 7月22日（土）9:30～15:00 場所：萩・明倫学舎 内容：座学＜1.災害学習（水害と避難）2.ジオ探訪から（研究発表など）＞ 主催・問い合わせ：geoとも 桂（0838-21-7173）、中西（080-8747-9383）

第80話 陸の豊かさも守ろう

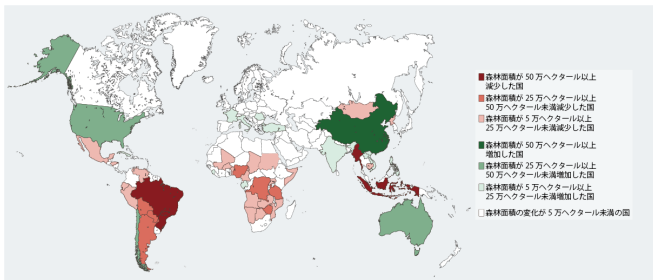
第81話 平和と公正をすべての人に



わっきー教授のつぶやき

がんばれ!半田くん SDGs編もいよいよ大詰めです。SDGsの17の目標のうち目標15と目標16が今回のテーマです。

SDGsの目標15は、「陸の豊かさを守ろう」です。”も”と表現されているのは、目標14「海の豊かさを守ろう」を受けているからです。海も陸も大切なんですね。陸地の3分の1は森林で、毎年約470ヘクタールの森林が気候変動や伐採によって失われています。地球の全人口の約4分の1の人々が木材や食料、燃料などの生産で生活を支えているので、その人々にとっては死活問題です。



世界の森林面積の国別純変化（2010～2015年、年平均）

環境省_自然環境局【森林対策】-世界の森林の現状 (env.go.jp)

また、わたしが暮らす都市や集落の近傍の里地里山も環境が悪くなっており、その保全が急務となっています。森林や里地里山の環境が悪くなることで生態系のバランスが崩れ、陸上に暮らす多くの生物が絶滅の危機にさらされています。現在約4万種の野生生物が絶滅の危機にあり、「レッドリスト」に登録されています。生物の多様性が失われることは、絶滅危惧種だけの問題ではなく、私たちの生活の問題でもあります。多くの生物に支えられて食べ物を得ている私たちの生活は、多くの生物が絶滅することによって、将来多くの困難に直面していくことになります。

SDGsの目標16は、「平和と公正をすべての人に」です。第二次世界大戦後、大きな戦争に関わっていない私たちは、今なお戦時下や抑圧された体制の中で、虐待や暴力を受けている多くの人々のことをあまり考える機会がありません。し

かし、現在の地球上では、約2億4600万人の子ども達が、争いごとや暴力、迫害

で命を奪われています。私たちはこの現状を知り、「誰もが、差別や暴力を受けることなく、安心安全な生活を送り、同じ立場で話し合い助け合う世界」を作り上げることを目指す必要があります。

地球上の誰一人取り残さない (No one will be left behind)。これがSDGsの最も基本的な理念です。性的少数者 (LGBTQ) への差別も問題となっています。日本の国会でも問題になっていますが、世界を旅すると、この問題で日本が如何に遅れているか分かります。日本では「みんなと同じ」ことを是とするので、なかなか受け入れがたい状況が続いているのです。日本でも「違いを認め、多様性をお互いに受け入れ合う」ことが普通になる社会へ少しずつ進んでいって欲しいと思います。これは、性的少数者についてだけの問題ではありません。人は、自分が仲間はずれになることを恐れるために、大きなグループに入りたがって、グループに入れない人を差別することで優位性を保とうとします。これが戦争や紛争の元であり、虐待や暴力の起源になります。SDGsの理念は素晴らしいけれど、その実現は大変難しい。そして、その難しさの根源は、私たちの心の中にあることを、目標16は教えてくれます。

(参考: [SDGs CLUB | 日本ユニセフ協会 \(ユニセフ日本委員会\) \(unicef.or.jp\)](https://www.unicef.or.jp/))

